

あなたの声を議会に...

No.125

(年4回発行予定)

令和2年11月15日発行



# 市議会だより



垂水千本イチョウ

## 目次

【令和2年第2回臨時会】	2
【令和2年第3回定例会】	3
常任委員会審査結果	4～
一般質問	6～
議案等の審議結果	12
特集 ようこそ議会へ	14～
令和2年第4回定例会日程案	
編集後記	16

発行／垂水市議会  
 編集／垂水市議会だより編集委員会  
 鹿児島県垂水市上町 114 番地  
 Tel 0994-32-1111 (内線 358)  
 メールアドレス  
 t\_gikai@po.city.tarumizu.kagoshima.jp



垂水市議会  
ホームページの入り口

令和2年  
第2回臨時会

# 垂水市庁舎建設に関する 住民投票条例（案） 全会一致で可決

第2回臨時会は、7月6日から10日までの5日間の会期で開かれました。

当臨時会は、市が計画している新庁舎建設をめぐり、計画を推進する市民グループから垂水市役所の位置を定める条例（以下、「位置条例」と表記）の改正を求める直接請求が行われたことから開かれたものです。

位置条例は、初日に条例制定請求代表者（新庁舎建設を進める会共同代表者）の意見陳述や質疑が行われ、翌7日の総務文教委員会では、参考人質疑や執行部との質疑が行われました。委員会での審査の結果、継続審査となりました。

また、10日の最終本会議に追加議案として、「垂水市庁舎建設に関する住民投票条例案」と、住民投票の実施に要する経費を増額補正しようとする「垂水市一般会計補正予算（第5号）案」が上程され、採決の結果、全会一致で可決されました。これにより、市が進める新庁舎計画の現行案について、市民の賛否を問い、市長・市議会は、その結果を尊重することになりました。

※審議結果は12ページ（上段）に掲載

## 住民投票の結果について

7/10 住民投票条例案の可決



8/2 住民投票告示



8/9 住民投票開票



反対多数

賛成 4,080 票  
反対 4,424 票



計画の白紙化



（庁舎建て替えの可否を含めて議論していくこととなる）

令和2年  
第3回定例会

# 一般会計補正予算 (第8号) (案) 可決

## 一般会計予算総額 159億9,450万円

第3回定例会は、8月28日から9月18日までの22日間の会期で開かれました。

定例会では、令和2年7月豪雨による災害復旧事業や、新型コロナウイルス対策事業の早急な執行に対応するために専決処分された一般会計補正予算(第6号)7億1166万円をはじめ、光ブロードバンド整備事業に係る一般会計補正予算(第7号)、垂水中央病院における新型コロナウイルス感染症対策事業に係る病院事業会計補正予算(第3号)が承認されました。

また、GIGAスクール関連事業を含む一般会計補正予算(第8号)2億9903万円をはじめ、各特別会計・公営企業会計の補正予算、条例改正(垂水市税条例の一部改正等)、人事案件(教育委員会委員の任命)など、議案や報告、意見書等29件が審議されました。

※審議結果は12ページ(下段)に掲載

一般質問では10名の議員が登壇し、執行部と論戦を交わしました。

※各議員の一般質問は6ページから掲載

### ～令和2年度一般会計補正予算(第8号)の主な事業～

#### GIGA スクール (施設整備費)

5,163万円

市内小・中学校への校内LAN整備等、ネットワーク環境整備の経費

#### GIGA スクール (教育振興費)

9,007万円

市内小・中学校へのタブレット端末の整備等の経費

一般会計補正予算(第8号) 2億9,903万円

#### 道路維持対策

1,200万円

道路の維持・補修に伴う重機借上料、小浜大浜線や岳野4号線等の排水整備等の経費

#### 中之平団地建替工事

2,300万円

中之平団地の建て替えに伴う旧住宅の解体工事の経費

第3回定例会では、白紙となった新庁舎建設計画について議論されました。第2回臨時会で継続審査となっていた位置条例は、最終本会議での採決の結果、否決されました。今後の新庁舎建設計画に関する協議の経過などは、議会だよりで市民の皆様にお知らせいたします。

産業厚生委員会

9月10日に産業厚生委員会が開催され、8月28日の本会議において付託された議案について審議されました。審議の際の主な質問と回答について紹介します。

令和2年度垂水市一般会計  
補正予算(第8号) 案

付託内容

委員会所管の事項で、新型コロナウイルス感染症対策事業や里山林等保全管理促進事業、火葬場業務等その他、中之平団地建替工事に伴う解体工事の予算等を審査。

また、10月1日に保健課内に新設される子育て世代包括支援センター(愛称:ちやいたる)のチラシ、看板等の開設に係る費用も承認。当窓口は、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の提供が目的。オンライン相談も可能。



主な質疑

問 里山林等保全管理促進事業の具体的内容は。

答 県民税を財源とした事業メニューの一つで、振興会などの地元による地域ぐるみの環境保全活動に対する補助事業である。市木地区での実施を考慮しており、地域と連携を密に実施したい。

里山林等保全管理促進事業

目的 里山林等で、地域ぐるみの森林環境保全活動を促進し、地域の森林を地域住民等で守り育てる意識の醸成を図る。

事業内容 ①地域活動(事業主体:自治会等。補助対象経費の10/10以内・上限20万円まで助成)  
②更新伐(事業主体:自治会等や市町村。委託料等、事業の実施に要した経費を助成)

問 火葬場業務における技術の継承、後継者育成、手当の充実や民間委託の方向性は。

答 現在、手当に関する各市の状況を調査中であり、後継者育成も含めて今後、検討していきたい。

問 市営住宅の修繕のあり方として、計画や体制の見直しはできないか。

答 今後は、計画的に修繕できるよう、課内で協議していきたい。体制についても、技術のある建築係と連携し、しっかりと対応していきたい。

令和2年度垂水市介護保険特別  
会計補正予算(第2号) 案

付託内容

令和元年度決算に伴う繰越金や国・県等への返還金、市負担金の精算に伴う繰出金等の増額補正

主な質疑

問 介護予防のインストラクターを養成していく方向性・考えは持っていないのか。

答 振興会単位などの小さなコミュニティを作って、地域の人たちが外出する通いの場づくりを最終的な目

的としている。本年1月に「はんとけん体操教室」が始まったことをきっかけとして、地区公民館などの大きなところでの実施により自主講座をできるような指導者を育て、細かい地域まで広げていきたい。

令和2年度垂水市漁業集落排水処理施設特別会計補正予算(第1号) 案

付託内容

パネルコンピューター・下水道鉄蓋等の修繕や、令和元年度繰越金の確定に伴う増額補正

主な質疑

問 修繕料の詳細は。

答 漁業集落排水処理施設の開所当時から使用している操作盤の寿命により、遠方監視・通報システムが故障しており、作動状況や警報の有無が現地でないときない状況のため、修繕しようとするものである。



# 総務文教委員会

9月11日に総務文教委員会が開催され、8月28日の本会議において付託された議案及び陳情について審議されました。審議の際の主な質問と回答について紹介します。

## 令和2年度垂水市一般会計補正予算(第8号)案

### 付託内容

委員会所管の事項で、職員の業務量調査委託料や国勢調査に係る予算、乗合タクシーの運営に係る地域公共交通活性化協議会負担金の増額、子育て世帯の定住促進を図るための子育て世帯住宅取得費助成事業補助金やGIGAスクール構想に係る教育関連予算、市民館耐震改修工事予算の増額などを審査。

### 主な質疑

**問** 国勢調査は、地方交付税を積算する上で重要な中身をもった調査であるが、調査員の意思統一はなされているのか。

**答** 地方交付税等の算定に活用される重要な調査であり、市としては遺漏のない形で実施したい。



**問** GIGAスクール構想の今後の取組について、令和3年4月開始に向けて、環境整備を含めて段階的に進めていくという理解でよいか。

**答** 今後は、各学校代表者からなる、「垂水市GIGAスクール構想推進検討委員会」を立ち上げ、実践事例の収集や研究を通して、市内小・中学校での普及に努めたい。

## 垂水市手数料条例の一部を改正する条例案

### 付託内容

マイナンバー通知カード廃止に伴い、通知カードを再交付する際の手数料を徴収する必要がなくなったことから、垂水市手数料条例の一部を改正し、併せて文言の整理をしようとするもの。

### 主な質疑

**問** 通知カードが廃止されたが、マイナンバーカードの本市の発行率はこの程度か。

**答** 本市の発行率は、約15%であり、全国平均より若干低くなっている。

## 垂水市印鑑条例の一部を改正する条例案

### 付託内容

印鑑登録証明事務処理要領の改正に伴い、これまで印鑑登録資格を認められなかった「成年被後見人」を、「意思能力を有しない者」とすることによって、成年被後見人にも意思能力がある場合、印鑑登録ができるようにする。

### 主な質疑

**問** 成年被後見人がおられる方、全てを対象にしているのか。

**答** 成年被後見人は、全てにおいて判断能力がないというわけではない。登録窓口において、後見人が同行し、成年被後見人に意思能力があると判断された場合は登録ができる。



## 垂水市税条例の一部を改正する条例案

### 付託内容

新型コロナウイルス対策に関する法令等の一部改正に伴い、条文を整理するもの。主な点は、葉巻たばこの税率改定、コロナ禍に対応した税の軽減措置、自動車の需要喚起策としての軽自動車税軽減措置延長、イベント中止に伴う払戻しに対応した措置導入など。

### 意見

生活・暮らし・営業に関わる問題のため、猶予等の権利が実行できるように、市民に情報提供・周知徹底を図っていただきたい。

令和2年 第3回定例会

一般質問

10 議員が登場!

新型コロナ対策実施中  
(マスク着用・アルコール消毒・換気)

市政を問う



第3回定例会において、10名の議員が一般質問を行いました。

※掲載内容については、質問と答弁の要旨を質問者の文責により掲載しております。詳細な内容については、市役所2階情報公開室や図書館等にありますが“会議録”をご覧ください。会議録は市役所ホームページからもご覧いただけます。

10番	9番	8番	7番	令和2年9月9日	6番	5番	4番	3番	2番	1番	令和2年9月8日	【質問者】 ※質問順
川畑 三郎	池山 節夫	北方 貞明	持留 良一		新原 勇	森 武一	前田 隆	梅木 勇	堀内 貴志	川越 信男		
議員	議員	議員	議員		議員	議員	議員	議員	議員	議員		
P11	P10	P10	P9		P9	P8	P8	P7	P7	P6		



川越 信男 議員

新型コロナウイルス感染拡大  
における学校の対応について

**問** 本市の学校に感染者や濃厚接触者が出た場合、誹謗中傷や差別・偏見等に対して教育委員会や学校はどのように対応していくのか。

**答** 新型コロナウイルスなどの感染症が、なぜ差別や偏見につながるのかについて深く学ぶとともに、不安やストレスからいじめや差別が生まれないようにするための対応方法について繰り返し学習し、定着を図ることとしている。いじめの未然防止や、偏見や差別をせずに、誰に対しても公正・公平に関わり、望ましい学校や社会を実現しようとする態度を育てる授業を、各学校において日常的に実施していく。

本城川の寄り洲除去について

**問** 本年度、県が計画している箇所と規模はどの程度か伺う。

**答** 本年度は、3か所の寄り洲除去が計画されており、既に発注済みの箇所を含めて、牧橋から上流を2290㎡、上馬込地区を3480㎡、

中洲橋上流部を2200㎡、合計7970㎡を除去する計画であるが、中洲橋上流部については、令和2年5月頃に、寄り洲が元で河川への排水が塞がり、雨天時は道路が冠水するため、寄り洲除去を行ってほしいとの要望があり、現地を確認後、大隅地域振興局へ除去の要望を行ったところ、既に発注がなされたと聞いているところである。

環境整備班について

**問** 農林課も土木課同様、整備班を3人1組程度で、ぜひ作っていたきたい。人材不足は、ある程度機械化を充実させることで多少は解消できると思うが、根本はやはり人材を増やすことではないかと思う。

今後の環境整備班の増員について、土木課長に伺う。

**答** 不足している機械類については購入を検討するなど、体制の充実化を図ることは重要であると捉えている。作業員の負担軽減のための新たな機械導入や、将来的な人員増についても関係課と協議を行い、今後の体制の充実化を検討しなければならぬ重要な課題であると考えている。

【その他の質問】

○道の駅たるみずはまびらのホテル建設について



堀内 貴志 議員

新庁舎建設問題  
住民投票の結果を受けて

**問** 原案どおりの計画であれば2年後に新庁舎が完成する予定であったが、残念ながら計画は白紙となった。今後の新庁舎建設には、場所、財政的な課題が大きい。現庁舎を継続利用するのか否かについても、再度検討する必要があると思う。そこで改めて現庁舎の耐震基準と耐震化した場合の事業の流れについて伺う。

また、今後の方向性について伺う。

**答** 現庁舎は昭和33年に建設され、昭和56年に改正された建築基準法の新耐震基準を満たしておらず、正確には耐震診断をしないと判断できないが、耐震性は低く、震度6強以上で倒壊する危険な建物であると考えられる。仮に耐震化すると、一般的な耐震化事業の流れとして耐震診断、耐震補強計画、実施設計、耐震工事という工程で進み、工事着工までに3〜4年を要する。

今後の方向性については、現実問題として庁舎の建て替えを含めて、新たな計画作りは難しくなっている。

財政的なメリットが無くなったことも含め、計画に反対の方々の具体的な代案も含めて考え方を聞くことからスタートし、互いに協力して取り組んでいく。

地域猫の対策

不妊、去勢手術の助成を

**問** 飼い主のいない猫、いわゆる地域猫のふん尿による異臭、子猫繁殖等の問題が全国的にも社会問題になっており、本市においても環境衛生の観点から対策が求められる。解決のためには、地域猫をこれ以上に増やさない取組が必要であると思うが、どのように考えているのか。

また、地域猫活動を推進するためにも不妊、去勢手術に対する助成はできないのか。

**答** 地域猫活動について、

他市を参考に情報収集に努め、地域猫について相談が寄せられた場合には、その活動を行うための同意形成や取組に対する支援について検討する。



【その他の質問】

○高齢者等の見守り活動



梅木 勇 議員

市木ずこん川の山、元垂水  
北迫川の防災対策を

**問** 7月の豪雨では、下市木でも西ノ宇都市有林の崖崩れにより、簡易水道施設等に被害があった。災害後のずこん川の山の崖ふちには伸び放題の山木等があり、住宅に覆いかぶさり、台風や強風が吹けば崩れ落ちそうになっているが、木の伐採はできないか伺う。

また、上元垂水の北迫川も併用になっている市道部分から濁流があふれ、住宅や畑等へ流れ込む被害があった。ここは以前から今回のようなことがあり、取り外しのできる堰板があるが対応に限界があるため、対策を考えていただきたい。

**答** 下市木の市有林は、切り立った山の斜面に木々が自生し、下には人家があり、今後集中豪雨や台風時に危険が高いことは認識している。早急な木の伐採等が必要と思われる。現地を調査・確認し対応を考える。

北迫川は通常水無川で、大雨時は水が流れ通行に支障を来している。対策として周辺の市道を高くする要

望も聞いているが、道路を高くすることで宅地や畑への乗り入れが困難になることが考えられることから、支障のない範囲での工法を検討したい。



西ノ宇都の市有林（通称：ずこん川の山）

道の駅たるみずはまびらについて

**問** 9月議会に雨よけ設置委託料270万円の予算が計上されている。物販施設北側出入口は緩やかな坂で、屋根がなく雨の日は滑りやすく危険である。ここからは出荷物の搬入もしているが雨の日等は大変で、利用者や出荷者への配慮がなされていないが委託料の内容を伺う。

**答** 物販施設北側出入口スロープ部分並びに隣接するトイレ棟への動線に屋根がなく、雨の際、来場者が滑る事案があったことから屋根の設置に向けた設計委託である。

【その他の質問】

○垂水島津家墓所の災害復旧について  
○道の駅（牛根）の情報提供室について



前田 隆 議員

**コロナ禍の観光対策  
千本イチョウについて**

**問** シャトルバス運行は実施するの  
か。実施の場合の新型コロナ対策と  
周辺観光案内、及びメディア等への  
情報発信について。実施しない場合  
の駐車場問題等について伺う。

**答** シャトルバス運行は実施する。  
委託業者に対し消毒液の設置、乗車  
人数の制限、換気対策、検温の実施、  
マスク着用など新型コロナウィルス  
感染防止対策を徹底するよう指導す  
る。周辺観光案内は、両道の駅や桜  
勘食堂でのイベント同時開催やスタ  
ンプラリーの実施を計画している。  
ホームページでの色づき情報の発信  
や、各報道機関へのPR活動も行い、  
観光客の増加に努める。運行しない  
場合でも来訪者は見込まれるため、  
駐車場の確保と警備員の配置を行う  
など、安全対策に努める。

**災害時の避難場所の課題**

**問** 浸水区域・土砂災害警戒区域の  
安全な避難場所として、ゴルフ場跡  
地(段)の駐車場を車中泊として利  
用できないか。

**答** 車中泊避難は、コロナ禍の中で

有効な避難策と認識するが、ゴルフ  
場跡地は避難経路に急傾斜地等の危  
険地帯があり、避難時の危険性や避  
難後の孤立化が危惧される。代案と  
してトイレや水等を完備した道の駅  
たるみずはまびらを車中泊の駐車場  
として考えている。今回の台風で課  
題が浮き彫りになった水之上地区の  
指定避難場所については、今後検討  
が必要である。

**本年度予算について**

**問** 新庁舎建設、国体関係、イベン  
ト予算など中止・延期に伴う執行停  
止予算の総額はいくらか。

**答** 執行停止予算の総額は約17億4  
000万円、新庁舎関係が16億6  
500万円、国体関係が約7000  
万円、イベント関係が約170万円  
である。

減額補正予算は12月を予定し、処  
理は補正予算書にマイナス計上し、  
同時に関連する財源もマイナス計上  
する。

**【その他の質問】**

- 避難所の備品購入数量の購入判断  
基準と数量確保について
- 市有施設整備基金積立について
- 地方創生臨時交付金の活用につ  
いて



森 武一 議員

**新型コロナウイルス感染症  
対策としてのインフルエンザ  
予防接種について**

**問** 全国的に新型コロナ対策として  
インフルエンザの予防接種が推奨さ  
れていった時に、インフルエンザワ  
クチンの不足が懸念されるが、対応  
策を伺う。

**答** 県医師会と連携し、鹿児島市、  
霧島市、鹿屋市等の医療機関で予防  
接種を受けることが可能となった。  
接種機を増やすことで、想定され  
るワクチン不足に対応できるものと  
考える。

**GIGAスクール構想について**

**問** 生徒一人に1台のタブレットを  
導入するに当たり、答弁の中で「い  
つでも自由自在に使える問題解決の  
ための必須の文房具」とのことだが  
必ず更新費用が出てくる。GIGA  
スクール構想に関連し、国からの財  
政支援を要望するだけでなく、  
ウェブベルマークの導入等を検討し、  
財政的な面を支えていけるようにな  
ることを要望するが、ランニングコ  
ストに関してどのように考えている  
のか伺う。

**答** 教育委員会としては、これから  
の未来を生きる子供たちに必要な力  
をつける教育を進めるために、授業  
においてタブレット端末を継続的に  
活用していきたいと考えている。今  
後の更新時期については、国庫補助  
が受けられるよう国に対して要望し  
ていく。

**※ウェブベルマークとは**

ウェブベルマークは、ウェブベル  
マークのホームページから普段使っ  
ているアスクルや楽天、ヤフオクな  
どのネット通販サイトへ訪問し、購  
入することで、利用金額に応じて指  
定した学校へ、従来のベルマーク点  
数と合わせて加算されるシステム。  
ベルマークは、学校の教育備品購入  
に使用され、また一度登録すれば従  
来のベルマークのような煩雑な作業  
も必要なく地域の学校を支援できる  
便利なサービスである。



**【その他の質問】**

- 様々な政策課題へのICT導入に  
ついて
- 新庁舎建設計画について





新原 勇 議員

垂水市農水産物について

**問** 垂水市農水産物販売促進緊急対策事業について、どのような方法でいくらかで売り出し、何食分の予定か。  
また、農水省の「#元氣いただきますプロジェクト」における本市の取組を伺う。

**答** 本事業は新型コロナウイルスの影響により販売数が減少しているカンパチ・ブリの消費対策並びに本市の来場者減少の対策と併せて実施するもので、両道の駅と桜勤食堂の3か所でテークアウトのカンパチ・ブリ丼を500円で販売する。期間は10月初旬から12月初旬まで、合計5000食の販売数を予定している。

「#元氣いただきますプロジェクト」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が顕著な農水産物の品目に対して販売を促進し、消費者の皆様に美味しく味わってもらおう機会の提供・提案等を行なうもので、本市の取組としては垂水・牛根両漁協が事業実施者となり、全国漁業協同組合連合会の事業で、消費者が送料無料で購入できるネット通販「ギョギョ

いち」へ、カンパチ・ブリなどの商品が掲載される予定である。

公共（税金）料金のペイジー及びコンビニ納付について

**問** ペイジー及びコンビニ納付ができれば、インターネットバンキング・モバイルバンキング・ATMを活用して利用者の利便性向上が図られるとともに、収納機関、金融機関の事務効率化にもつながる。現在の口座振替率と、ペイジー等の導入に係る経費、導入時期について伺う。

**答** 口座振替率は、軽自動車税が約22・73%、固定資産税が約40・84%、市県民税が約21・54%、国民健康保険税が約34・99%である。経費は基幹システム変更費用等が概算で640万円程度コンビニ収納代行業者に支払う月額基本料が取り扱う税金と使用料それぞれ発生し、納付に係る取扱手数料も一件当たり税別で57円かかる。導入時期は、税務課をはじめ庁内関係各課並びに本市基幹システム業者にもお願いし導入する際の課題や可能性について協議を行っている。システム変更に要する期間及び収納代行者の確定並びに住民への周知期間等を考慮すると、それ相当の期間が必要なため、現段階でははっきり申し上げられないが、今後とも導入に向けて取り組む。

い



持留 良一 議員

PCR検査、いつでも、何度でも

**問** 今後の新型コロナウイルス感染予防や感染拡大を未然に防止していくという観点から対策をとっていくことが求められている。

このような中、政府も行政検査で「地域の関係者を幅広く検査することは可能」としている。財政的な問題はありますが、感染拡大を抑止することが重要な取組であり、無症状の感染者を見つけたし保護・隔離することができると考えられる。つまり診断が目的ではなく「防疫」が目的である。

そこで、安心して働ける保障のために、医療・介護・福祉・保育所等の関係者の社会的検査を進めていく必要があると考えるが、見解を伺う。

**答** 本市では感染者が確認されないことから、施設等関係者への社会的検査を実施する場合には、検査費用の負担が発生すると考えられる。社会的検査を実施すると、検査件数が格段に増加し、検査業務におけるマンパワーの問題に加え、検査結果までの時間も問題が生じると考える。現時点では、検査の導入に踏み切れないが、今後の財政支援やPCR等

検査体制の拡充状況を見極めつつ、介護施設・福祉施設等への感染防止策の啓発や研修会等引き続き行い、感染予防策に取り組み、状況に応じた最善の対応をしていく。

妊婦の不安解消を

**問** 妊婦の検査は、妊婦の不安を解消し、医療従事者らの感染を防ぐことにもなる。そのために自己負担をなくし、里帰り出産も含め、すべての妊婦を対象に実施することを求める。

**答** PCR検査を受けることは、妊婦の不安感を軽減するために大変意義深いと考える。県の事業としても予算化されており、ほぼ自己負担のない形で検査を受けられると思う。

障がい者・高齢者等の交通弱者対策

**問** 重度障がい者タクシー助成への取組を

**答** 市独自の取組はないが、障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができる環境づくりの一つとして、医療機関への通院や買い物等を目的とした交通手段を確保することは重要な施策と考えている。どのような交通支援が必要なのか他市の取組について情報収集を行い、調査・研究していく。

【その他の質問】

- 高城の太陽光開発問題 地域を守れ
- 住民投票の意義と今後の方向と責任
- 新型コロナウイルスと経済対策



北方 貞明 議員

飼い犬について

**問** 飼い犬による咬傷事案が発生した場合、一番心配されるのが狂犬病である。飼育には市役所への届出義務があるが、本市には何頭登録され、未登録の指導についての取組は。

**答** 本市の登録は、平成30年度823頭、令和元年度752頭、令和2年8月現在で725頭である。予防接種率は、平成30年度63・3%、令和元年度62・1%、令和2年8月現在で41・2%と減少傾向である。未登録犬の把握はしていないが、飼いに登録と予防接種の必要性を周知し、今後は振興会や動物病院等に協力を求め、未登録犬の解消や予防接種率の向上を図っていく。

両道の駅・森の駅について

**問** 両道の駅と森の駅について、今年は新型コロナウイルス等で影響があったと思うが、来客数・売上げ等は前年に対しどうだったか。また、道の駅たるみずはまびらのマリンス

ポーツの海面使用について伺う。

**答** 道の駅たるみずは、来場者15万5956名、対前年比56・8%、売上げは対前年比51・6%。道の駅たるみずはまびらは、来場者22万8888名、対前年比71・1%、売上げは対前年比48・1%。森の駅たるみずは、宿泊人数2173名で対前年比68%、使用料金対前年比75・6%と、3施設とも減少。森の駅キャニオニングは、対前年比116・5%、道の駅たるみずはまびらのマリンスポーツは対前年比115%とともに増加。マリンスポーツの海面使用については、4月から5月に最盛期を迎えるヒジキ漁との関係から、4月に運営会社と垂水市漁協並びに関係漁業者と、海岸から消波ブロック間に限り合意している。6月には垂水新港から垂水南漁港まで活動範囲の延長を合意。覚書は締結していないが、今後関係者と協議していく。

住民投票結果について

**問** 白紙となった新庁舎計画の今後について伺う。

**答** 計画に反対された方の意見、具体的に実現可能な代案などを伺いながらスタートし、お互い協力して取り組む必要がある。今後いろいろな形で知恵を絞りながら進めていく。



池山 節夫 議員

新庁舎計画の白紙化について

**問** 新庁舎建設事業については、これまで長年にわたり議会で議論してきた。白紙になったら、耐震補強をせざるを得ない。耐震関係の事業の流れと、その期間、課題について伺う。

**答** まず耐震診断を行い、その後、耐震補強計画、実施設計、耐震工事を行うという流れである。期間については、一般的に3年から4年を要すると考えている。課題としては、耐震改修だけ行うのか、内部改修や設備等の改修まで行うのかにより、改修工事の内容が変わってくる。仮に補助事業を活用すると工事完成後に10年間は使用しないといけないことも考えられるため、新庁舎の建設時期によっては、補助金の返納等の取扱いが課題になると考えられる。

「次の計画の実現性」と「実現可能な代案」について

**問** 議会ではこれまで、もし白紙になったら当分造れませんがという議論はさんざんやってきている。今回の白紙化に当たって、議会の責任は重いと思うし、特に反対された議員の方の責任は重いと思う。白紙化に

なってしまったその責任をちゃんと負ってもらわないと。新しい庁舎を造るときに補助金もない。次の計画の実現性について伺う。

また、実現可能な代案について、特に反対された議員の方、議決権を持っているのだから、その人に聞きたいというのは当然だと思う。その辺について協議する仕組みを作った方がいいと思うが、どうか。

**答** 現計画以外の具体的な代案はない。ベスト案が否決されて、さらに少なくとも10億円近い財政のメリツトがない中で案というのは、より劣るものである。反対された方々の理由があるはずなので、そこを縫合する形の組織を作りながら進めていくことが重要であろうと考えている。実現可能な代案については、反対された方々のお考え、また具体案というものがあって、そういったものをご提示いただけるのであれば、今後計画の策定過程において協議を進めていく際に、大変必要なことだと考えている。

学校教育について

**問** 新型コロナウイルスでの自主欠席・自主休校についてと登校選択制導入について伺う。

**答** 本市では、実際に不安で休ませた事例はない。また、基本的には学校での対面授業が重要である。



川畑 三郎 議員

梅雨以降の災害状況について

**問** 災害復旧において、小浜大浜線の工事内容とは井川の復旧のめどについて伺う。

**答** 小浜大浜線の工事内容は、脇登振興会からの要望であった「市道の排水対策」と「鶴田川河口部の洗堀対策」と併せ、集水樹の整備を行う予定である。さらに迫田地区においても、以前、小浜大浜線の側溝改修工事を実施した際、水があふれることがあったため、この部分の改修も小浜大浜線の排水対策として行うこととしている。是井川の農業用施設災害復旧事業への申請は、道路災害4件、水路災害3件を予定している。現在、災害査定準備を進めており、10月までに査定を受け、11月までに工事発注ができるよう、早期完成に努める。

農林行政について

**問** 高齢化・後継者不足で、今後の農業は大変な状況である。農地中間管理事業をもっと活用して垂水の農業を進めてほしいが、事業の取組状況について伺う。

**答** 平成26年度から10年間で農地の大部分を担い手に集積・集約化する

ことを目標とする農地中間管理事業の取組が始まって、5年余りが経過した。県農地中間管理機構を農地の中間受け皿として、市推進委員を中心に、農業委員会と連携しながら事業推進を図っている。直近の対策面積は、平成29年度34・7ha、平成30年度13・4ha、令和元年度7・4haとなっている。

今後大隅地域振興局や県土改連等、関係機関からの情報収集を図り、計画が前進するよう、担い手へのさらなる農地集積・集約に取り組む。

新庁舎建設の総括について

**問** これからの計画づくりについて、実現可能な計画なのか、みんなで確認できる機会を作ってほしい。我々議会としても、真剣に考えなければいけないと考えるが、最後に市長の総括を伺う。

**答** 当議会で、多くの議員から新庁舎に対する考え方・意見・要望をもらい、今後の新庁舎建設計画をどう進めていくか参考になった。特に現庁舎の耐震化は、市民・職員の安心安全の確保を優先して検討していかねければならない。コスト面の課題をクリアするには、規模や機能の見直し、低下が予想されるため、市民・議員から具体的な提案をもらいながら検討していく。皆さんの知恵を結集して、垂水の未来のためにしっかりと頑張っていきたい。

賛否が分かれた議案について (○：賛成、×：反対)

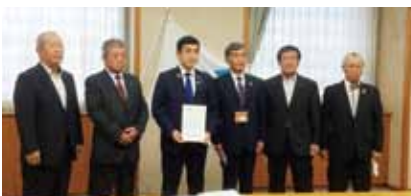
氏名 議案番号・議案件名	新原	森	前	池	梅	堀	川	感	持	北	池	徳	川	篠	○ 賛成	× 反対	審議結果
	勇	武一	田隆	田みずす	木勇	内貴志	越信男	王寺耕造	留良一	方貞明	山節夫	留邦治	畑三郎	原静則			
議案第45号 垂水市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例案	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	×	欠席	×	5	8	否決
※特別多数の議決・・・当議案の可決には、地方自治法第4条第3項（事務所の設置または変更）に基づき、議長を含む出席議員の3分の2以上の同意を要する。																	
議案第32号 令和2年度垂水市一般会計補正予算（第8号）案	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	欠席	※議長のため表決不参加	11	1	原案可決

～ 議員の主な活動 ～ 【令和2年7月～令和2年10月分】

- 7月17日(金) 桜島火山対策 県要望（鹿児島市）
- 7月28日(火) 大隅地域市町議会議員協議会決算監査
- 8月12日(水) 桜島火山活動対策議会協議会（鹿児島市）



8/12 桜島火山活動対策協議会



10/26 小規模市議長会 県要望

- 10月8日(木) 農木材PR・木材需要拡大の要望活動
- 10月13日(火) 桜島火山対策 中央要望（東京都）
- 10月19日(月) 小規模市ネットワーク議長会 宮崎県要望（宮崎県）
- 10月26日(月) 小規模市ネットワーク議長会 県要望（鹿児島市）

**お知らせ** 令和2年度の議会報告会は、新型コロナウイルス感染予防のため、中止となりました。

## 令和2年第2回臨時会に提案された件名と結果一覧

番 号	件 名	内 容	審議結果
議案 第45号	垂水市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例案	地方自治法第74条第1項に基づく直接請求により、垂水市役所の位置を新庁舎建設予定地に変更しようとするもの	継続審査
議案 第46号	垂水市庁舎建設に関する住民投票条例案	新庁舎建設事業に関して、現計画案の賛否を問う住民投票を行おうとするもの	原案可決
議案 第47号	令和2年度垂水市一般会計補正予算（第5号）案	住民投票の実施に要する経費を増額補正するもの	原案可決

## 令和2年第3回定例会に提案された件名と結果一覧

番 号	件 名	内 容	審議結果
報告 第10号	損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について	公用車両のブロック塀衝突に伴い、ブロック塀修理費を賠償し和解するもの	
報告 第11号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度垂水市一般会計補正予算（第6号））	7月豪雨に係る災害復旧費（農業用施設・公共土木施設等）や新型コロナウイルス感染症対策（インフルエンザ予防接種補助、ひとり親世帯臨時特別給付金、たるたるひとり親特別支援金、新生児特別支援金等）に係る増額補正	承認
報告 第12号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度垂水市一般会計補正予算（第7号））	光回線未整備エリア（新城・柘原・牛根地区等）への光回線整備に伴う増額補正	承認
報告 第13号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度垂水市病院事業会計補正予算（第3号））	垂水中央病院における新型コロナウイルス感染症対策事業（医療機器購入等）に係る増額補正	承認
議案 第43号	令和元年度垂水市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	令和元年度垂水市水道事業会計の剰余金の処分や決算を審査するもの	原案可決及び認定
議案 第44号	令和元年度垂水市病院事業会計決算の認定について	令和元年度垂水市病院事業会計の決算を審査するもの	認定
議案 第45号	垂水市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例案	地方自治法第74条第1項に基づく直接請求により、垂水市役所の位置を新庁舎建設予定地に変更しようとするもの	否決
議案 第48号	垂水市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例案	行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の改正に伴い、条文を整理するもの	原案可決
議案 第49号	垂水市税条例の一部を改正する条例案	新型コロナウイルス対策に関する法令等の一部改正に伴い、条文を整理するもの	原案可決
議案 第50号	垂水市手数料条例の一部を改正する条例案	マイナンバー通知カードの廃止に伴い、通知カードを再交付する際の手数料を削除するもの	原案可決
議案 第51号	垂水市印鑑条例の一部を改正する条例案	印鑑登録証明事務処理要領の改正に伴い、意思能力を有する成年被後見人が印鑑登録できるように改正するもの	原案可決
議案 第52号	垂水市教育委員会委員の任命について	教育委員会委員の任命について、議会の同意を求めるもの（田原 正人氏の再任）	同意
議案 第53号	令和2年度垂水市一般会計補正予算（第8号）案	中之平団地建替工事に伴う解体工事、GIGAスクール構想の実現に向けたタブレット端末整備、校内LAN整備に係る増額補正	原案可決
議案 第54号	令和2年度垂水市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）案	令和元年度国民健康保険特別会計決算に伴う繰出金や、会計年度任用職員の期末勤勉手当の増額補正	原案可決
議案 第55号	令和2年度垂水市介護保険特別会計補正予算（第2号）案	令和元年度決算に伴う繰越金や国・県等への返還金、市負担金の精算に伴う繰出金等の増額補正	原案可決
議案 第56号	令和2年度垂水市老人保健施設特別会計補正予算（第1号）案	令和元年度繰越金の確定に伴う増額補正	原案可決
議案 第57号	令和2年度垂水市漁業集落排水処理施設特別会計補正予算（第1号）案	パネルコンピューター・下水道鉄蓋等の修繕や、令和元年度繰越金の確定に伴う増額補正	原案可決
議案 第58号	令和2年度垂水市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）案	令和元年度繰越金の確定に伴う増額補正	原案可決
議案 第59号	令和2年度垂水市水道事業会計補正予算（第1号）案	人事異動に伴う給与等の増額補正	原案可決
議案 第60号	令和元年度垂水市一般会計歳入歳出決算認定について		
議案 第61号	令和元年度垂水市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		
議案 第62号	令和元年度垂水市交通災害共済特別会計歳入歳出決算認定について		
議案 第63号	令和元年度垂水市地方卸売市場特別会計歳入歳出決算認定について	令和元年度各会計の決算を審査するもの→閉会中の決算特別委員会で審査することに決定	継続審査
議案 第64号	令和元年度垂水市老人保健施設特別会計歳入歳出決算認定について		
議案 第65号	令和元年度垂水市漁業集落排水処理施設特別会計歳入歳出決算認定について		
議案 第66号	令和元年度垂水市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について		
議案 第67号	令和元年度垂水市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について		
議案 第68号	令和元年度垂水市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		
意見書案 第7号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書案	地方財源の確保等、新型コロナウイルスの影響に対する政府への意見書	原案可決

# 公営企業決算特別委員会

7月16日に公営企業決算特別委員会が開催され、次の2議案について審査されました。審査の結果、両議案とも、原案のとおり可決・認定されました。審査の際の主な質問と回答について紹介します。

## 令和元年度垂水市水道事業会計 剰余金の処分及び決算の認定

### 審査結果

剰余金の処分について原案可決、決算の認定については要望を付して認定。

### ※要望

【水道管耐震化等に関する国の財政的支援を積極的に求めること】

**問** 製造コストとなる給水原価について、平成30年度は高くなっていたが、改善されたのか。

**答** 給水原価を上げる要因の一つである漏水の調査を実施した。漏水調査後、16か所の漏水箇所を修繕した結果、給水原価の改善につながった。

**問** 水道は、市民生活や社会活動に不可欠なライフラインで、災害等の非常事態でも速やかに復旧できる体制の確保等が必要であるが、水道管

の耐震化事業の現状は。

**答** 水道ビジョンに基づき、令和2年度から40年間かけて耐震化を進めていく。毎年1億円前後の工事費の支出となる。

**問** 現在の耐震管の適合率は。

**答** 重要な基幹管路で20%、全体に占める割合では5%程度である。

**問** 「工事費に対する施設の減価償却や企業債の借入れによる償還額等が経営を圧迫することが懸念される。」との監査委員からの意見をどのように考えているか。

**答** 工事については、収入の減少を見極めながら臨機応変に対応し、企業債の借入れなどは、経営状況の指標をみながら判断していく。できるだけ水道料金の値上げにつながらないような経営に取り組んでいきたい。



## 令和元年度垂水市病院事業 会計決算の認定

### 審査結果

適正であると認定

**問** 資本的収支の不足額の発生や企業債の増加の原因は。

**答** 公営企業会計においては、損益的収支と資本的収支に分かれるため、資本的収支において不足額が生じているが、現金的には不足は生じていない。

また、企業債の増加は、平成30年度に高額なMRI機器を更新したことが要因である。高額な医療機器の更新時期には企業債の残高が増えるが、今後も計画どおり医療機器の更新を行っていききたい。



MRI機器

**問** 令和元年度の経営状況は。

**答** 入院・外来の患者数は減少したが、入院単価・外来単価が上がり、医療収益は増加している。要因の一つとして、鹿児島大学とのネットワークによる内科医の増員がある。今後も医療機器等の設備投資などを行い、市内・市外の患者の確保を図ってきたい。

**問** 施設の老朽化について、今後どのように更新していくのか。

**答** 医療機器等については、法定耐用年数に基づき更新等を計画している。施設については、開設から33年経過しているため、令和2年度に長寿命化計画を策定する。



垂水中央病院

特集

# ようこそ議会へ

～議会の仕組みをご紹介します～

議会は、住民が直接選挙で選んだ議員で構成される最高の意思決定機関であり、市政をチェックし、地方自治の適正な運営を行う役割があります。

..... ～ 議会のながれ～ .....

## 議会運営委員会

本会議初日のおおむね一週間前に開かれる委員会（各常任委員会から3名ずつ選出された計6名で構成）で、議会の日程や提出議案などを協議します。請願・陳情の取扱いも協議するため、請願等の受付締切日は、議会運営委員会の前日までとなっています。



## 本会議（初日）



### 開催時期は？

3月・6月・9月・12月の年4回、定例会が開かれます。定例会とは別に、必要がある場合は「臨時会」が開催されます。

### ① 開会

原則として議員定数の半数以上の出席を必要とし、議長の開会宣告により議会スタート

### ② 議案説明

提出された議案の内容と議案理由について、提出者が説明します。

### ③ 質疑

議案について、議員が質問し、提出者が質問に答えます。



### 委員会とは？

行政の行う事務は幅広い分野に及ぶため、いくつかの部門別に分け、詳しく効率的に審査するために、議会の中には委員会が設置されます。

### ④ 委員会付託

議案などを詳細に審査するため、関係の常任委員会に付託します。

※付託とは、任せること・委ねること。



## 本会議（2・3日目）



### 一般質問とは？

議員が市政全般について、市長や課長等に対し、疑問点などについて質問することをいいます。一般質問は本会議場にて行われ、議員の質問に市長や課長等が答弁する形となります。

### ○ 一般質問

議員が市政全般の施策について質問し、市当局の答弁を求めます。

## 委員会

○ 産業厚生委員会 ○ 総務文教委員会（各委員会は7名で構成）

各常任委員会では、本会議で付託された議案や請願などについて、市当局から詳しく説明を受けたり、質疑を行うなど専門的かつ詳細に審査し、委員会として賛成・反対を決定します。



## 本会議（最終日）

① 委員会報告 > 各常任委員長が委員会での審査結果を報告します。

② 委員長報告に対する質疑 > 各常任委員長の報告に対し、議員が質疑をします。

③ 討 論 > 議案などについての賛成・反対の意見を述べます。

④ 表 決 > 議案について、賛成・反対の意思を決めます。

⑤ 閉 会 > 議長の閉会宣告で議会が閉会します。



議会を見てみよう!

本議会を見る方法は、下の2つの方法があります。

- ① 議会を傍聴する
- ② パソコンやスマートフォンで議会中継を視聴する

**【① 議会を傍聴する】**

本会議は基本的に開かれています。傍聴席入口の受付簿に記入し、「傍聴の禁止」「傍聴の遵守事項」を守って頂ければ、どなたでも傍聴することができます。

「傍聴の禁止」「傍聴の遵守事項」は、傍聴席入口に掲示しています。

※新型コロナの関係で当分の間、傍聴規制を行っています。

(先着16名。ただし、インターネット環境がない方に限る)



議会傍聴 QRコード

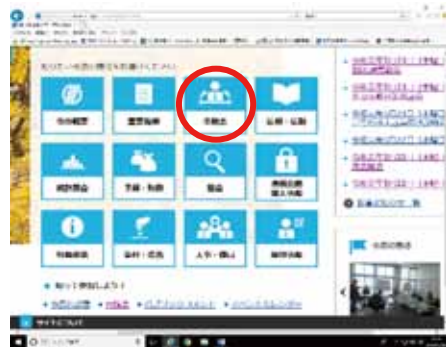
**【② 議会中継を視聴する】**

議会中継を「YouTube (ユーチューブ)」と呼ばれる動画共有サービスを利用して放送しています。今回は、垂水市ホームページから視聴する方法を紹介します。

**1 「市政の動き」をクリック**



**2 「市議会」アイコンをクリック**



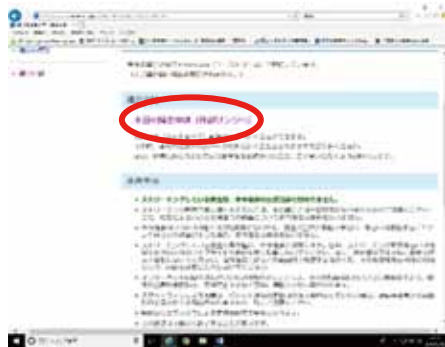
**3 「傍聴・中継」をクリック**



**4 「議会中継」をクリック**



**5 「本日の議会中継」をクリック**



注・YouTube (ユーチューブ) のご利用は免責事項を確認の上、ご視聴下さい。



議会中継 QRコード

【特集 第11回】  
垂水市の史跡めぐり

1942年頃に垂水市早崎で益富壽之助氏（鉱物学者）によって発見された鉱物は、その後の調査で新鉱物であることが判明し、発見された大隅半島の地名にちなんで「大隅石」と名付けられたものです。

歴史的な発見「大隅石」

大隅石の発見後、益富氏から森本良平氏（元東大名誉教授）へ標本が譲られ、当初は「葦青石」として発表されました。しかしその後、都城秋穂氏（地質学者）が、研究を続けたところ、葦青石ではなく新種の鉱物であることが判明し、最初の発見から11年後の1953年に論文で発表されました。

新種の鉱物発見について、鹿児島県工業技術センターの元副所長大迫陽一氏は、『新鉱物の発見は、生物種にくらべて世界的にもはるかに少なく貴重な資料である。（中略）垂水市早崎で初めて見出された「大隅石」が西日本最初のヒットとなったことは、あたかも日本最初の人工衛星「おおすみ」が、1969年に大隅の地、内之浦から打ち上げられた

ことと共に、記念すべき地学的できごとである。」と述べています。

その後、大隅石は世界各地で発見され、現在では23種もの鉱物が「大隅石グループ」として分類されています。

大変貴重な大隅石ですが、現物が鹿児島県立博物館に展示されていますので、ぜひご覧ください。



大隅石（鹿児島県立博物館より提供）

【参考文献】

- ・ 地質ニュース454号45頁
- ・ 日本から発見された新鉱物たち（一覽）／東京大学物性研究所HP
- ・ 鹿児島県咲花平および隼人の大隅石と共生する鉄葦青石／日本鉱物科学会2015年年会講演要旨

市議会へ行こう

令和2年 第4回定例会会期日程（案）

月	火	水	木	金
11/23	24	25	26	27 本会議
30	12/1	2	3	4
7	8 一般質問	9 一般質問	10 産業厚生委員会	11 総務文教委員会
14	15	16	17	18 本会議

- ※本会議は、市役所3階の議会傍聴席にて傍聴できます。（新型コロナウイルス感染症対策のため、マスク着用の遵守や傍聴を制限する場合もあります。本会議の様子はライブ配信していますので、インターネット中継をご覧ください。）
- ※委員会の傍聴は、事前に委員長の許可が必要です。
- ※請願等の受付締切日は、議会運営委員会前日の11月19日です。
- ※11月27日、12月18日の本会議は午前10時から、一般質問及び各委員会は午前9時30分からの開会予定です。
- ※日程は変更になる場合がありますので、議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

日常生活では、コロナ禍に合わせて新しい生活様式が求められています。先日まで感染症予防を行いなから、熱中症予防への注意喚起がなされていきましたが、今度は本格的な秋の訪れとともに、季節性インフルエンザとの同時流行への備えが重要になります。健康には十分配慮ください。

さて、8月に新庁舎建設現行案の賛否を問う住民投票が行われた

結果、反対多数で計画は白紙に戻りました。現庁舎をどうするのかを含めて、新たな場所の問題・財政的な課題に取り組まなければなりません。

議会としても市民の皆様の意見をいただきながら新たな方向性を示していかなければならないと思っています。

今後も市民の皆様のニーズに対応した議会運営を行って参ります。また、編集等についてご意見・ご感想がありましたら、お気軽にお聞かせください。